

# みんなの町議会



## 目次

- 9月定例会の概要・経過 ..... 2~3
- 決算特別委員会 ..... 4~7
- 常任委員会の焦点 ..... 8~9
- 一般質問に7名登壇 ..... 10~17
- 全員協議会・研修報告 ..... 18
- あれ なんと なった べが！ ..... 19
- 楽しんでます・がんばってます ..... 20

No. 128  
2016年10月1日

実りの秋



# 旧大川小学校を事業所として活用

9月定例会を、9月2日から14日までの13日間の会期で開き、審議した議案は平成27年度五城目町一般会計決算認定など17議案。その全てを原案通り認定・可決した。一般質問は7議員が登壇した。

一般質問は、「6月中旬から

発生の上水道濁り」、「未就園児

に対する子育て支援」、「公共施

設等総合管理計画策定」、「町の

主産業である農業・林業の振興

策」、「橋梁の老朽化と維持管

理」、「熊から命を守る獣害対

策」、「町政3期の総括」などを

質問した。

町長は行政報告で旧大川小学

校の活用について校舎1階部

分を秋田基準寝具株式会社の関

連会社である有限会社つばさ

へ、普通財産として総務課が管

理し貸し付けることなどを報告

した。

行政報告の後、

・決算特別委員6名を選出し、

決算特別委員会を設置

・代表監査委員による監査報告

・各常任委員会

・4日間の決算特別委員会の審

査

最終日には、決算特別委員長、

各常任委員長の報告があり、各

議案を全会一致で認定可決し

た。

平成27年度一般会計決算は、

歳入58億6,552万円

歳出56億6,320万円

差引2億231万円です。

国民健康保険や下水道事業な

ど特別会計決算もすべてが黒字

決算となった。

# 消防庁舎建設事業 総額6億5,651万円で完成



また、選挙管理委員会委員を選出し、教育委員、人権擁護委員推薦案に同意した。

続いて議会運営委員長より問責決議案が提出され議題とし、「館岡隆議員に対する問責決議」を可決し閉会した。

## 決議の内容

館岡隆議員は介護保険料を滞納し、不納欠損処分となっていることが明らかになり、議会運営委員会を開催し、問責決議(案)を提出、本会議で議題とし可決した。

## 問責決議とは

国または地方自治体の議会において政治任用職にある者、または議会の役員、個人の責任を問うことを内容として行われる決議をいう。

## 議会選出の選挙 管理委員会委員

再任 松橋 正美氏(75歳)



浅見内

再任 畠山 利信氏(68歳)



千 日

新任 新谷 研逸氏(67歳)



下夕町

新任 本間 重春氏(62歳)



館 越

(畑澤 洋子)

# 決算特別委員会 報告

## 平成27年度各会計を「認定」



4 日間に渡り審査



委員長  
佐藤慶彦

### 審査日程

#### 〈日程〉

9月2日 決算特別委員会設置、委員選出、正副委員長選出

9月7日 委員長挨拶・審査方針説明

#### 〈審査開始〉

午前 消防本部 議会事務局 出納室

午後 税務課 まちづくり課 総務課

9月8日

午前 建設課

午後 農業委員会 農林振興課 商工振興課

9月9日

午前 住民生活課 健康福祉課

午後 健康福祉課続き 生涯学習課 学校教育課  
追加審査・まちづくり課

9月10日

午前 現地視察（樽沢福祉線・消防庁舎・恋地山荘）

午後 追加審査 消防本部 税務課 総務課

健康福祉課

委員決算認定採決

委員長挨拶・総括

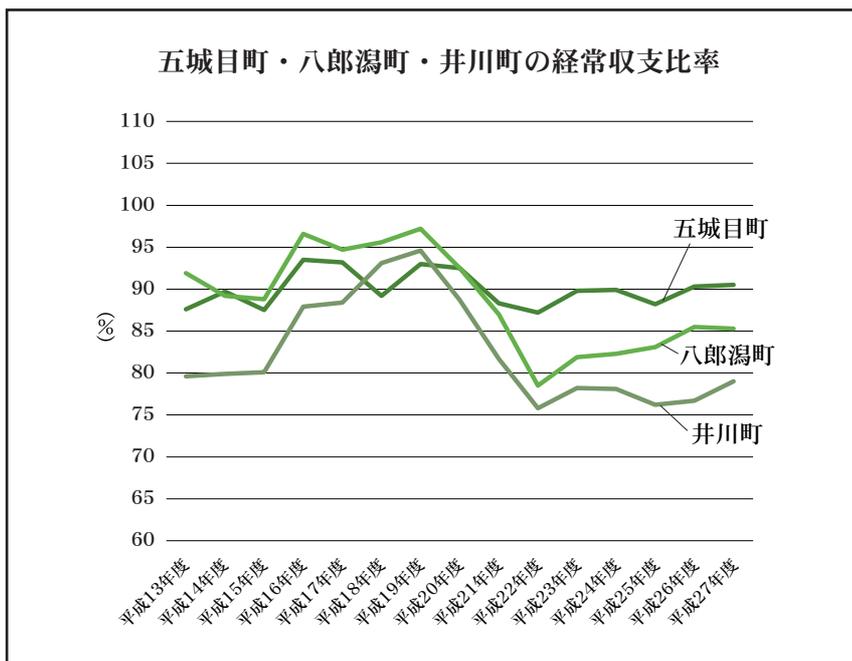
### ● 決算特別委員会とは ●

決算特別委員会は、決算が議会に提出された際、その審査のために設置される。町では9月定例会の際、委員会を設置し、一般会計決算、特別会計各決算、水道会計決算が提出され審査する。今年度は各常任委員会から3名が選出され6名の委員で構成された。

参	委	副	委	決算特別委員会
与	員	員	員	
小林	荒川	石井	斎藤	
正志	正巳	光雅	志保	
			椎名	
			荒川	
			佐藤	
			慶彦	

(議会議長)

# 次世代への負担は依然として重く 進まない財政健全化



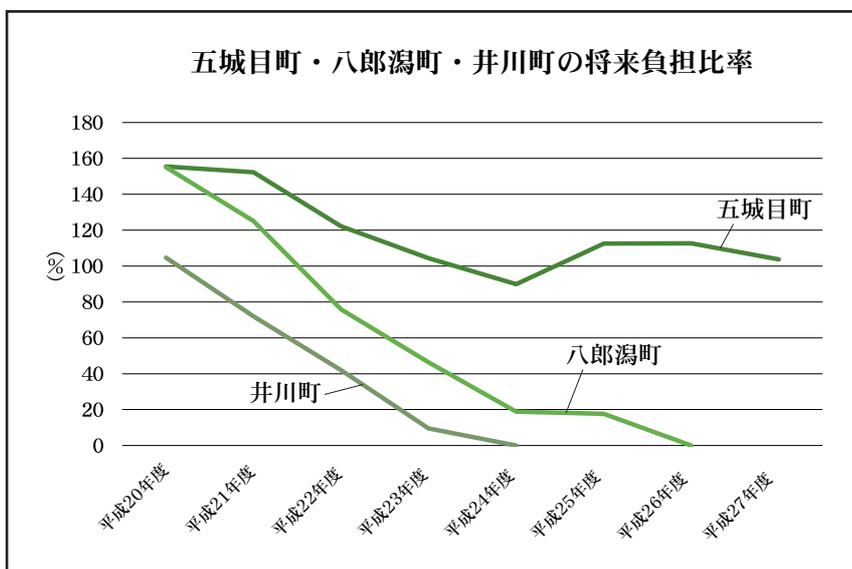
低いほど良いとされる経常収支比率

## ● 経常収支比率とは ●

財政構造の弾力性を測定する指標。比率が低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金があることを示している。

## ● 将来負担比率とは ●

将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標。この比率が高いと、将来的に財政が圧迫される可能性が高くなる。



高いほど将来的に財政が圧迫される

県内町村で最も財政が硬直化し、将来負担も非常に多い

町村名	経常収支比率(%)	将来負担比率(%)
五城目町	90.5	103.7
東成瀬村	89.8	—
羽後町	86.7	39.4
八郎潟町	85.3	—
美郷町	84.8	—
八峰町	83.9	12.4
藤里町	83.0	41.9
小坂町	82.3	125.7
三種町	82.3	13.4
大潟村	81.8	64.2
上小阿仁村	79.8	—
井川町	79.0	—

# 決算審査

## 平成27年度消防職員不祥事 徹底した再発防止を

### 消防本部

今年1月の消防職員の不祥事のため、消防学校救急課の入校経費として約10万円の損失が発生した。訓告という処分では軽いのではないかという指摘もあった。

### 出納室

工事の指定検査員制度のあり方について指摘。消防庁舎竣工式の時すでに車庫床コンクリートにひび割れがあり、



消防庁舎のひび割れ

町では計11人の検査員がいるものの1名で検査し、項目も簡易的なもので検査員からは指摘がなかった。

今後は大きな事業の時は複数で当たるなど工事の検査のあり方について改善を求めた。

### 税務課

滞納繰越、不納欠損が増えていることから、きめこまやかな税務相談をし、収納率の向上を求めた。

口座振替の加入率に関しては、平成25年度が35・3%、26年度が37・4%、そして27年度が41・26%と順調に推移しており、目標の50%へ向け更なる周知を求めた。

### 住民生活課

消防庁舎の外溝工事において車止めアーチ設置と残土処理が事前着工ではないかとい

う指摘があり、町では軽微な変更と捉えたものの、議会の議決事項であることから了解を得て進めるべきものと深く反省しており、委員会として二度と無いよう厳しく指摘した。

空き家対策における地域おこし協力隊の活動内容に関し、情報発信をし、住民に活動が見えるよう求めた。

### 商工振興課

朝市ふれあい館の一部土地所有者の家財道具が恋地山荘に収納されており、一刻も早い解決を求めた。



老朽化する恋地山荘



恋地山荘内の現状

### 生涯学習課

各地区公民館長が長期に固定化されて既得権益化しているとの指摘があった。当局でもその指摘を認識しており、定年制などを今後検討する。

### 健康福祉課

社会福祉協議会の補助金2,565万円は、会長含む職員4名分の人件費、他にアルバイト4人、社会福祉活動、福祉教育推進事業、スパーク五城目の運営に関する補助であり、協議会の財政基盤の強化を図りながら自立に向け改善していきたいとした。

# 特別職の介護保険料不納欠損 サービス利用にペナルティもあり、制度説明の努力を

## 介護保険

介護サービスに対しては健康長寿のまちづくりをめざし、介護予防を中心とした体制や地域づくりを進めていくとの説明がある一方で、委員からは介護タクシーなどの情報提供が不足しており、在宅介護に対する支援に力をいれるよう求めた。

介護保険料については、納付書や口座振込みで納める普通徴収は359名であり、未納は45名、欠損は50名。滞納者には督促状、催告書で通知している。

特別職に従事しているながら滞納している数名には監査委員からの指摘を受け、電話連絡や直接の説明をしている。

税と違い介護保険料は2年で不納欠損となることを踏まえ、不納欠損は納めたくても納められない状況であり、委員からは「本人の自覚不足が一番であるものの、職員の次に制度に詳しいはずの特別職に説明できないようでは、一般の方への説明もおぼつかない」との強い指摘がなされた。

サービスの利用にペナルティがあり、負担額も多くなることから家族にも周知し、滞納者の解消を求めた。

## 下水道事業特別会計

30億を超える地方債があり、普及率の向上を目指すとともに料金の改定についても今後検討すべきであると指摘した。交付税の関係で一般会計から2億円を超える繰入がされている。

## 水道事業会計

平成27年度末において、給水人口は8,807人、給水区域内人口の普及率は99.4%、供給した配水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合である有収率は83.3%。

27年度は供給単価199円に対し、給水原価が222円と昨年より悪化していることから今後料金単価の見直しについて検討するよう求めた。

1億7,600万円の減債積立金がありながら、4%以上の高利で償還している企業債については繰り上げ償還を行うよう指摘した。いずれも今後検討がなされる。

## 水道料金比較

(消費税抜)

	五城目町		八郎潟町		井川町	
基本料金	10㎡	1,800円	5㎡	1,200円	10㎡	1,650円
超過料金	1㎡	180円	1㎡	240円	1㎡	165円

\*八郎潟町は5㎡まで基本料金、以降は超過料金



## 水道料金不足分が拡大、今後値上げを検討

	五城目町の水道料金 供給単価と給水原価		
	供給単価	給水原価	不足分
平成26年度	197円97銭	211円23銭	13円26銭
平成27年度	199円10銭	222円82銭	23円72銭

## 学校教育課

普通学級に在籍し障害等で支援を要する児童生徒数は、平成27年度は36名であり、幼児児童生徒学校生活サポート職員は五小の23名の対象者に対し8名配置し、五一中には対象が13名に対し5名配置された。障害は年々多様化して来ており、良好な教育環境の確保と学習格差をなくすため、サポート職員の役割は増している、委員からはサポート職員の研修体制の充実を求めた。

(佐藤 慶彦)

# 総務産業 常任委員会

## 地域活性化支援センターに 1社1個人が新たに入居



計13室に入居となる

開設から3年経過しようとしている地域活性化支援センターにはこれまでの10社1個人に加え、公募を経て新たに1社1個人の入居が決まった。内閣府の認定を受け地方創生推進交付金を活用し今後の施設運営のあり方を調査研究する。また、支援室の環境整備の工事と備品の購入をする。また、新たに入居する支援室に電気メーターの設置、LANケーブル引き込みなど環境整備の工事とFFストロブの購入をする。

今後も地域に根差したベンチャー企業などの活動拠点としてさらなる利活用が望まれる。

## 中山間地地域担い手収益力 向上支援事業費決まる



富津内地区の一部が畑作に適した圃場となる

富津内地区土壌改良事業が行われる。既存の本暗渠（きんせいのんあんきょ）に深さ40～50cm、幅2・5m間隔でモミ殻補助暗渠（もみくわほつじょあんきょ）を施工し畑作に適した圃場とする。広さは8・67ha。事業費433万5,000円は、全額国庫補助金。

(荒川 滋)

## 広ヶ野住宅3棟改修される

町営広ヶ野住宅、新広ヶ野住宅の改修を行う。広ヶ野住宅1棟は内部工事、新広ヶ野住宅2棟は内部及び外部工事となる。利用者が気持ちよく使えるよう必要な作業ではあるが、老朽化によりかかる費用は増加傾向である。



老朽化が進む町営住宅

# 教育民生 常任委員会

## 通所介護事業所が より地域に密着



ハッピーライフあんど



デイサービスセンター福寿荘

通所介護事業所が、利用者にとってより良い事業所となるために、法の一部が改正されたのに伴い、町条例も改められた。

改正の内容は、通所介護事業所に年2回運営推進会議を開催することを義務づけるもので、メンバーは地域住民、利用者の家族、市町村の包括支援センター、地域密着型通所介護において知見を有する者で構成する。

新しく対象となるのは「ハッピーライフあんど」「デイサービスセンター福寿荘」であり、「認知症対応型通所介護事

業所すずめだて」「湯の越温泉デイサービスセンター」と合わせ、町では4事業所となった。

通所介護事業（デイサービス）とは  
要介護者・要支援者が老人デイサービスセンターなどに通い、入浴・食事などの介護健康状態の確認、生活に関する相談・助言などの日常生活上の世話及び機能訓練等を日帰りで受けるサービス。

カラスのフン公害対策として、中央線のケヤキにテグスを張り、カラスが近づけないようにする。  
また、五城目高校脇の町有地に箱わなを設置し、捕獲に努めるなど対策を講じる。



夕方集まるカラスの大群

(椎名 志保)

## カラス対策を徹底する

## マイナンバーカード発行を推進



カード申請は住民生活課窓口へ

マイナンバーカード発行件数は、8月末現在で482名であり、率にして4.8%、全国では3月末現在で5.8%となっている。  
身分証として利用できるため、国では発行を推進している。  
カードの申請、発行については、住民生活課窓口において丁寧に対応する。

# 一般質問

## 7議員が ただ 31項目を質す

### 一般質問とは？

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。議題とは関係なく、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため通告性が採用されています。通告（質問の届け出）は、議員個人の判断によります。

\*五城目町議会では、質問者1人につき持ち時間は質問・答弁含め1時間となっています。

### 質問者

#### 荒川 滋 議員

- 6月中旬から発生の上水道濁りについて
- 雀館運動公園芝生広場拡張について、他3項目

#### 椎名 志保 議員

- 未就園児に対する子育て支援について
- スポーツ少年団の活動について、他2項目

#### 佐藤 慶彦 議員

- 各種団体補助金のあり方について
- 公共施設等総合管理計画策定について、他4項目

#### 斎藤 晋 議員

- 町の主産業である農業・林業の振興策をどう進めるか
- 自然との触れ合いを取り戻すためにどうすればいいのか、他3項目

#### 佐々木仁茂 議員

- 来年2月の町長選挙について
- 橋梁の老朽化と維持管理について、他1項目

#### 畑澤 洋子 議員

- 命を守る獣害対策は
- 救急現場で協力した住民にフォローアップ目的の感謝カードの配布を、他2項目

#### 館岡 隆 議員

- 渡邊町政3期の総括
- 旧大川小学校の利活用、他2項目

9月5日、6日の本会議において7議員が31項目にわたり一般質問を行った。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えする。

# 一般質問

## 本町部、森山地区、大川地区 上水道の濁りの原因は

町長

### 浄水場送水ポンプのトラブルと 推定される



安全安心の源である上水道



荒川 滋

**荒川** 6月中旬から発生した上水道濁りの原因は。

**町長** 機能が低下していた浄水場の3号送水ポンプを6月15日に更新した。結果、送水量が上がったことによる急激な流量の変化が推定される。

**荒川** 水質に問題はなかったのか。

**町長** 6月10日に52項目に渡り水質検査を受けた結果、水道法水質基準に適合し健康に害はない。同月23日までに解消した。

**荒川** 八月の濁りの原因は。  
**建設課長** 当時連日の猛暑で使用量が激増し流量の変化により本管内の有機物やサビが剥離したことが考えられる。

**荒川** 今後も気象状況等により同様のことが起きるということか。

**建設課長** 考えられるが、今後管の更新も控えているので解消していくと思われる。

**荒川** 一連の症状と原因を町民には知らせたか。

**町長** 問い合わせのあった箇所に向き調査し排水管や消火栓を開け濁り水の配水を行っている」と説明した。

**荒川** 住民への告知体制を再確認すべきだ。

**町長** 水道本管工事などは回覧や広報車などでの周知が可能だが、原因がはっきりせず広範囲にわたる濁り水などは今後の課題である。

### 雀館芝生広場 拡張を

**荒川** 多くのグラウンドゴルフ愛好者に利用され住民の健康増進と維持に大きく貢献している雀館運動公園芝生広場の南側と西側を拡張し魅力を増すことにより交流人口の増加にもつながる。



多くの愛好者に利用される芝生広場

**教育長** グラウンドゴルフ協会の皆様や利用者の意見を伺いながらより使いやすい広場となるよう努める。

### 高齢者に優しい 町に

**荒川** 高齢者の不安の最上位である除雪を高齢者世帯への優しさを持つものに変えることは出来ないか。

**町長** 交通確保のため良好な路面管理に努める。雪が道路両側に置かれることに関して町民の皆様のご理解をいただきたい。町内会の協力や、社協と提携している高齢者世帯等の除雪支援事業の利用をお願いしたい。

**荒川** 車だけではなく人によさしい除雪を望む。

**教育長** 南(町道)側は広場整備用の砂の保管場所や作業用地として利用しているが、地盤整備により拡張可能と考える。西(中川原)側は緊急車両通行確保やのり面急傾斜地であることから安全対策を含めさらに検討が必要。

**荒川** 現在、西側の作業道路は桜の枝が垂れ下がり、芝生の刈りカスと草が山積みで車両が通行できる状態ではない。また急傾斜地までの幅は望んでいない。現在のコースの端から2〜3m程度どうにか出来ないか。町グラウンドゴルフ協会の皆さんは自ら芝張り作業に協力するとも言ってくれている。

その他に

- 五城目第一中学校野球部ビニールハウス脇に放置の基礎付きのネットフェンス
- スパーク五城目の利用料減免化

について質問しました。

# 一般質問

## 未就園児に対する 居場所作りの充実を

### 町長 「わんパーク」「子育てサロン」の あり方を再検討する



椎名 志保

**椎名** 保育施設に預けず、在宅で養育されている子どもに対する支援が足りない。

月に2回開催のもりやまこども園でのわんパークは好評で、毎回30名ほどが利用し、延べにして年700名くらいの利用者がいる。

一方、ケアセンターに設置されている子育てサロンは、週に一度開催されているにもかかわらず、あまり利用が見られない。

わんパークの回数を増やすか、子育てサロンに保健師や保育士資格を持つ者を配置するなど、場所の検討も含め、未就園児の居場所作りを厚くする必要があるのでないか。



ケアセンター内の子育てサロン（社会福祉協議会事務室となり）

**町長** 本年度は、結婚から子育てまでの支援体制を充実させるため、町民によるワークショップを開催する。そこから出た意見を参考にし、わんパーク、子育てサロンのあり方も再検討する。

### スポーツ少年団活動を より充実したものに

**椎名** 小学校におけるスポーツ少年団の活動が、勝利至上主義にならず、児童の健全な

心身の育成となるよう、指導者・保護者双方に研修の機会を設け、相互理解のもと、運営されるべきである。

教育委員会がイニシアチブを取って、進める必要があると考えるが。

**教育長** 毎年4月に町スポーツ少年団結団式後の保護者・指導者説明会において、互いに尊重し、尊敬し、児童の健全育成に努めてもらうようお願いしている。

今後、指導者育成・保護者研修の実施に向け、町体育協会とともに取り組んでいく。

### 集団健診の受診率 向上の取り組みを

**椎名** 本町における集団健診の受診率は。

**町長** 平成27年度の特定健診の受診率は50%、大腸がん検診35・6%、胃がん検診23・4%、胸部検診36・4%となっている。

**椎名** 秋田県のがん死亡率は、ここ数年全国1位を続けている。大きな原因の一つにがん検診の受診率が低いことも挙げられる。

がんは今や治る病気であり、早期発見・早期治療のためにも、また生活習慣病対策としても集団健診の受診率向上に努めるべきではないか。

**町長** 町では「広報ごじょうめ」で早朝健診の実施をPRし、パンフレット、町のホームページでも健康調査の必要性を呼び掛けている。また電話で受診を勧めることも行っている。

特定健診受診率は60%、各がん検診受診率は50%を目標に、受診しやすい環境作り、未受診者対策を強化していく。



連れ立って受診しましょう

その他に  
○農家の担い手不足をどう考えるか  
○集団営農、複合型農業にどう進言していくか  
質問しました。

# 未着工の「し尿処理施設改築(5億9300万円)」と「防災行政無線(3億8530万円)」の財源は どうなったか。

あなたにかわって  
聞きました  
**一般質問**

## 町長 厳しい財政状況であり、他の事業に充てられた



佐藤 慶彦

佐藤 「公共施設等総合管理計画」の策定にあたり、総務

### 策定過程における情報の公開を

**佐藤** 総合発展計画の前期計画(平成24年から28年)で予定していた「し尿処理施設改築事業」と「防災行政情報伝達施設整備事業」の財源と積立はどうなったか。

**町長** 自主財源が厳しい財政状況であることから、基金に積み立てることは出来ず、他の事業の財源に充てられた。

**佐藤** 合併協議会破綻後に策定した自立計画からは職員数が15人ほど多い状態で財政を圧迫している要因となっている、職員再任用制度も始まっていることから今後見直しも必要だ。



公共施設の更新に今後莫大な費用がかかる

省からはPPP(公民連携)活用の検討を策定過程に開示するよう求められているが。

**町長** 計画全体の素案がまとも次第、議会(議会議員全員協議会により)と住民(町ホームページと縦覧により)に情報提供する。

**佐藤** いつ頃の開示になるか。

**総務課長** 10月中の開示を目指す。

公共施設等総合管理計画とは

公共施設等の全体を把握し長期的な視点を持つて更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設の最適な配置を実現するための計画。平成28年度中の策定完了を目指している。

### 地域おこし協力隊の応募状況は

**佐藤** 地域おこし協力隊の募集状況は。応募が少ない理由と対策は。

**教育長** 7月25日までの公募期間において、2名の方から応募があり、審査の結果、不採用とした。全国で220の自治体(県内は7)が公募しており、どの自治体も採用に苦労をしている。ホームページでの公募と合わせて首都圏などでの募集活動や情報収集に積極的に努める。

**佐藤** にかほ市の地域おこし協力隊はANA(全日本空輸)グループの社員であり、休職制度を利用して派遣されている。企業もCSR(企業の社会的責任)といった社会貢献が求められる時代となっており、安定的採用のため今後は企業との連携も必要だ。

- その他に
- 各種補助金の在り方
  - 町が義務教育学校を目標さないことについて
  - 橋梁長寿命化修繕計画の実施
- 質問しました。

# 農業・林業の振興 6次産業化を

## 一般質問

町長

### 国・県の制度を活用し振興策を進める



齋藤 晋

#### 農業・林業の振興が町を発展させる

**齋藤** 町の主産業は農業と林業である。町が潤うためには国・県の事業を活用し振興策を進めなければならない。

**町長** 国・県の制度を活用し農業では、パイプハウスの導入事業・未来農業の夢プラン事業・農業経営発展加速化支援事業などに町が協調支援している。

林業では、町森林整備計画を作成し、林業労働者と林業後継者の育成・県営事業による林業専用道の拡幅工事などにより、森林の施業化や搬出間伐が容易になっている。主な事業として森林整備地域活動支援交付金事業を実施している。

#### 農業・林業の6次産業化を推進すべき

**齋藤** 町が潤い発展するため、農業・林業の6次産業化が必要であり、町が推進すべきである。

**町長** 地方創生事業を活用し、地域資源を活用し新規商品の開発、既存商品の改良、商品の宣伝、販路拡大を新たに行う地元の企業や経営者を支援

している。

「キイチゴ」を使ったジャムとビールの開発に取り組み、「恋地ベリージャム」として販売を開始しビールも試飲会で好評を得ている。また、木材関係では、「組子コースター」の商品改良とパッケージの作成に取り組んでいる。

#### 川遊びを子供から取り上げたのは、大人である

**齋藤** 川遊び・山遊びなど自然と触れ合う遊びを子供たちから「危ない」と言って取り上げたのは大人である。安全を確保し川遊び・山遊びの楽しさを子供たちに伝えるべきだ。

**教育長** 自然と触れ合っ

て遊ぶ経験は感性を磨き知的好奇心を刺激し、体力向上や辛抱強さを培うために有効である。「学習意欲」「自律」「自立心」の育成のため、親子で参加できる自然体験の場の提供に努めたい。



川遊びの名人たちがおいしい魚を焼いています

#### 町長選に出馬するのか

**町長** 就任当初から「町民とともに汗し働く、協働のまちづくり」を基本として様々な事業に取り組んできた。

人口減少、地域経済の低迷など課題が山積する中で、現在の取り組みを継続し充実させるため、これからも町政運営をしていくのが私の責任である。今後も町発展のため、全身全霊を注いでゆきたい。

その他に

- 小中学校での野外活動の状況は
  - 山遊び川遊びを傳承すべき
  - 町有地の年間管理費用は
  - 町有地の除草は年何回
  - 除雪組合を作るべき
  - 除雪会議はいつ開催か
- について質問しました。

# 一般質問

## 町長は4期目の立候補を 考えているか

### 町長 町政運営は私に課せられた責務だ



佐々木仁茂

**佐々木** 3期12年間の政策実行について、どう総括するのか。

**町長** 3期目の町政運営の公約は、「地域医療対策」「雇用・企業立地対策」「安全・安心対策」「子ども・少子化対策」「集落対策」「定住対策」を重点的に進めることであった。

子ども・少子化対策では、課題も残されているが、概ね計画どおり公約は達成できた。  
**佐々木** 南秋田郡のトップリーダーとしての強力なメッセージがほしい。

**町長** 人には内に込める情熱と外に出す情熱がある。私はケースバイケースで使う。

今後とも町民とともに、五城目町のさらなる飛躍と発展を目指し頑張りたい。

### 橋梁の老朽化と維持管理を問う

**佐々木** 町の111橋梁の長寿命化に向けての調査結果はどうなっているのか。今後の維持管理計画はできているのか。

**町長** 平成26年7月の道路法施行令の改正により、5年に1回の定期点検が義務付けられたため、26年度から点検に主眼を置き修繕計画が先送りとなっている。今後は、重要性が高く緊急度の高い橋から順次補修を実施していく。29年度は、五城目橋を予定している。

**佐々木** 広ヶ野橋は、児童生徒の通学路である。欄干と橋上の舗装面がだいぶ傷んでいるが、補修の予定はあるのか。

**町長** 広ヶ野橋は、町の橋梁としても重要性が高い。長寿命化修繕計画に則り補修を予定しているが、今後の橋梁点検や適宜道路パトロールの実施により、小規模補修は即時に行っていく。



老朽化が進み改修が待たれる五城目橋



傷みが見える通学路でもある広ヶ野橋

**佐々木** 近年中山間農地の耕作放棄地が多くみられ、歯止めがかからない状況にある。耕作放棄地が増え続ける現状をただ傍観し、将来を不安視しているばかりではだめである。中山間農地の条件不利地へ排水対策を施し、そば栽培の奨励をしてはどうか。

**町長** 耕作放棄地は条件不利地が多く、特に排水対策に問題があることから放棄されている現状である。

そばの栽培により耕作放棄地が解消されることは有効な手段であると思われる。今後、町としてそば栽培を奨励したい。

### 耕作放棄地解消は そば栽培で



山間地での満開のそば花

あなたにかわって  
聞きました

# 一般質問

## 救急現場で協力した住民(バイスタンダー)に「応急手当感謝カード」の配布を

町長

### バイスタンダーフォローアップカード導入を検討する



畑澤 洋子

**畑澤** 応急処置を行う一般住民は、極限の状況で心臓マッサージや大量出血の止血を行い「後になって自分の行った処置が正しかったのか」など強い不安やストレスを抱えるケースもある。感謝の気持ちを伝えるとともに、事後をサポートしていく目的のカードを配布してはどうか。

**町長** 救命講習会などで「救命処置の結果に責任を問われることはない」とことや「救命できない場合も多い」ことを啓発している。バイスタンダーをサポートする上で、カードの配布は有用であり導入に向け検討する。

### 熊から命を守る獣害対策は

**畑澤** 県内では熊の出没が相次ぎ犠牲者も多く出た。町でも目撃情報が多くなり襲われる被害もあった。目撃情報は警察と役場どちらに報告するのか。今年を目撃件数・殺処分頭数は、環境省マニュアルと同様に町のマニュアルは策定しているか。行政と警察と猟友会の密な連携と人材育成は重要だ。

**町長** 目撃情報は警察と役場のどちらかに入ると共有される。8月末現在の目撃件数59件。受傷者1名。殺処分18頭である。行動マニュアルは定めていないが地元町内会・猟友会・警察と連携しパトロールや箱わなを設置するなど作業を進めている。町職員には資格取得のPRを行っており今後も努めていく。

### 選挙に行きやすい 共通投票所の設置を

**畑澤** 今年6月19日施行の改正公職選挙法では、選挙権年齢を18歳に引き下げると共に、投票日に駅やショッピングセンターなどに、共通投票所を設けることが出来る。7月の参議院選挙の投票率の分析は。投票環境など今後の方針は。

**町長** 18歳19歳の投票率は50・7%と県内投票率を上回っているが、全体的には下回っている。全国的な状況などを参考にし、町内各投票所や期日前投票所の見直しを含めて検討していく。



出没注意を呼びかけるチラシ

その他に  
○18歳未満の聴覚障害者に、人工内耳用装着備品と交換に支援の充実を

質問しました。

# 一般質問

## 渡邊町政3期の総括 実績と課題は



館岡 隆

**館岡** 渡邊町政12年間あっという間に過ぎ去ろうとしている。ビジョン無し、リーダーシップ無しでは町の発展はない。町長の12年間の実績と課題は何か。

**町長** 五城目第一中学校の改築、朝市ふれあい館、地域活性化支援センター、屋内温水プール、消防庁舎の改築。今後も町民の福祉の向上のために様々な事業にとりくんでいく。

課題は人口減少・少子高齢化の進展に歯止めをかけるまでに至っていない。それぞれの取り組みが必ずしも十分に成果を上げることができなかった。

**館岡** 町長自身、政策を提案しリーダーシップを発揮し、汗流したことがあるのか。現在の課題はどここの町村も同じ、その解決のための手法、手段は何か。

県内有数の少子高齢化の町。これ以上無気力で放漫行

政を長く続くことは町民にとってこれ以上の不幸はない。

### 旧大川小の利活用

**館岡** 以前に示された障害福祉関連施設に大川地区住民の了解はあったのか。

**町長** (有)つばさが障害福祉サービスの就労継続支援B型事業者を11月から開業する。7月15日に大川地区住民への説明会を開き説明し了承を得られた。

**館岡** 産直センターへの活用はないのか。旧馬場目小の様



産直センターとして利活用を

に教室をシェアし多目的な利  
用もあるが。

**町長** 町が運営する産直センターの新設は考えてない。地元の要望もない。福祉施設の貸付のみで普通財産として管理する。

**館岡** そのまま老朽化させるのか。地域から希望者を募ってアクシオンをおこせ。

### ふるさと納税で 活性化を

**館岡** ふるさと納税を町内産業、地域経済活性化のために内外に大いにPRすべき。

**町長** 寄附者に対してふるさと特産品を贈呈することに、町内産業の活性化を図る。多くの自治体の中から、五城目町を選んでいただくため、返礼品は、寄附金に対する還元率を60%とし、他自治体より高く設定しており、全国に五城目町の特産品がPRできるようにしたいと考えている。

ふるさと納税は、予算ベースで500万円を目標としている。

### ちよだ五城目交流館

**館岡** 首都圏の方々との交流することは今後の様々な取り組みが期待される。現在この会の運営と地元会員との関係は順調に推移しているか。

**町長** ギャラリー、カフェ、区民・町民の交流など行うため、あくまで有志による民間団体として活動すると説明をうけている。

### 防災訓練について

**館岡** 全国各地で大変な想定外の災害がおきている。8月21日の秋田県総合防災訓練についての評価は。

**町長** 今回の訓練を契機に自主防災組織の設置を推進する。防災訓練を継続して実施する。

その他に

○成人式は他の地域ではやっていない愛郷心を育む感動的な式典を開催すべき

○し尿処理施設の状況について

○地方創生推進交付金事業について

質問しました。

# 議会議員 全員協議会

平成28年7月6日

## 協議案件

- 旧大川小学校の利活用について
- 五城目小学校改築事業について

## 報告案件

- 地方創生関連事業について

平成28年8月24日

## 協議案件

- 五城目小学校改築事業について

## 報告案件

- 地方創生推進交付金事業について



(石井 光雅)

# 議員研修

南秋の議員が勢ぞろい

研修名 南秋田郡議員大会

日時 平成28年7月26日

場所

八郎潟町えきまえ交流館

はちパル

講演

秋田県における

地方創生の取組について

講師

秋田地域振興局 奈良 博氏

参加議員 全議員

よりよい議会広報作り

研修名

秋田県町村議会広報研修会

日時 平成28年8月1日

場所

秋田市ルポールみずほ

講演

「住民に読まれ

議会活動が伝わる」

「議会報の基本と編集技術」

講師

議会広報コンサルタント

芳野 政明氏



参加議員

荒川 滋 椎名志保

佐藤慶彦 小林正志

斎藤 晋 佐々木仁茂

畑澤洋子 石井光雅

佐藤重信

農業・農村の

これからを学ぶ

研修名

秋田県町村議会議員研修会

日時 平成28年8月1日

場所 秋田県町村会館

講演

「農山村資源を活かした

地域活性化」

講師

NPO法人えがおつなげて

代表理事 曾根原 久司氏

講演

「TPP交渉の最新動向と

今後の展望」

講師

東京大学教授 鈴木 宣弘氏

参加議員 全議員

(佐藤 慶彦)

## 教育委員会委員の 任命に同意

再任 佐藤 卓男氏 (68歳)



西野

再任 八木下真全氏 (48歳)



下夕町

## 人権擁護委員の 推薦に同意

新任 島崎 春美氏 (60歳)



大川

(畑澤 洋子)



あれ



# なんとになったべが!

平成27年9月定例会一般質問より

問

若者定住のために町営住宅・空き家の活用を。

答

総合戦略策定の中で検討する。

現在

五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、首都圏などからの若者の転入者を増やし、更には定住を促進するため、移住して起業等を行う場合に、起業等に係る準備費用や家賃など生活費を助成する制度を創設した。

問

ICT教育の推進で、早期に1人1台のタブレット整備を。

答

平成30年度中の導入をめざす。

現在

平成29年度において1クラス相当分を配置し、その後1人1台の配置を推進する。

問

友愛館のあり方と具体的な構想は。

答

杉沢地区住民の意見を聞き、地域の活性化に資するよう運営形態に努める。

現在

これまで地区町内会長の皆様と友愛館運営に係る懇談会を開催し、指定管理による運営を含め協議を行っている。

引き続き協議を進め、交流人口の増による地区の活性化および町全体への効果波及に向け、実施事業の精査や運営形態のあり方について、検討を進める。



有効活用が待たれる友愛館

問

災害発生時の避難勧告など、今後どのような体制をとっていくのか。

答

現在地域防災計画の見直し作業であり、この中で検討する。

現在

今後、国・県のガイドラインに従い、避難勧告等の判断・伝達マニュアル(仮称)を作成して対応する。

編集

後記



8月21日に秋田県総合防災訓練が行われた。10日後の8月末に岩手県と北海道に大きな被害をもたらした台風10号に備えて、当町では自主避難所を開設したが幸い大きな被害が出ることはなかった。

岩手県岩泉町では大きな被害となってしまったが被災された方には心からお見舞い申し上げます。一日も早く通常の生活を取り戻すことが出来るよう願わずにはいられない。

当町は比較的災害が少ない所である。しかし、天災は忘れた頃にやってくる。町の防災への取り組みは大丈夫か。しっかりとチェックしていきたい。町民の安全安心のため。

荒川 滋記

# がんばってます



五城目小学校5年  
はたけやま がい  
畠山 凱さん  
(紀久栄町)

ぼくは、小学一年生から柔道を始め、

「全国優勝」をめざして練習をしています。今年も、四回の全国大会に出場することができました。

五月五日に東京の講道館で行われた「全国少年柔道大会」では準優勝することができました。決勝の舞台で戦えたことはすごくうれしかったです。準優勝できたことは、いままでささえてくれた家族、かんとく、コーチのおかげだと思っています。全国大会の経験はぼくにとってもすごく勉強になりました。

今年最後の全国大会が、十月九日にあるので目標にしている「優勝」という大きな夢を実現できるようにがんばっていききたいと思っています。

来年は小学生最後の年になります。



努力していききたいと思っています。これからも目標や夢に向かって、がんばっていきます。

す。勉強も柔道もしつかりやり、悔いの残らない小学校生活にしていきたくと思っています。そして、後輩たちの良い見本になれるように



## 率浦グラウンドゴルフ有志の会

会長 伊藤 孝治さん (矢場崎)

◆どのような会ですか。

**伊藤** 年間を通じてグラウンドゴルフを楽しめる会です。会員は74名で、夏季は芝生広場で月1度の大会、冬季はスパーク五城目で月2度の大会(週3回の練習)を行っています。

◆会の運営方法は。

**伊藤** 会費で賄います。年会費500円と集会の都度100円いただき、運営しています。会場使用料・グラウンドゴルフ用具購入費・賞品代などに充てています。

◆楽しめるとことは。

**伊藤** 老若男女を問わず誰もが一緒に楽しめるスポーツです。健康づくり、仲間づくりには最適です。大会は誰が勝つか分からないだけに入賞の喜びとホールインワン達成の時の喜びは格別ですよ。



◆9月の秋田魁新報社杯争奪県グラウンドゴルフ大会では多くの方が上位入賞されたようですが。

**伊藤** 個人戦男子75歳以上の部で工藤二郎さん、75歳以下の部で沢田石喜三郎さんが優勝。女子75歳以上の部で3位館岡アチ子さん、75歳以下の部では伊藤トシ子さんが準優勝。団体戦では当五城目いそらチーム(伊藤孝治さん、斉藤要さん、沢田石喜三郎さん、沢田石和子さん、佐々木絹子さん、伊藤トシ子さん)が準優勝を果たしています。

◆町政や議会にご意見やご要望はありますか。

**伊藤** 雀館運動公園芝生広場の周りに芝を張ると利用できるスペースがあります。

ぜひコースの拡張をお願いしたいです。それから、屋内ゲートボール場スパーク五城目の土間が荒れやすくなっています。これからは人工芝の時代じゃないかな。

(荒川 滋)